

江南市戦略計画を見直し

第一次改訂基本計画を策定しました

～第一次改訂基本計画（平成23年度～平成29年度）の概要～

「豊かで暮らしやすい生活都市」の実現に向けて

少子高齢化の進展、国・地方を通じた厳しい財政状況や行政ニーズの多様化など、江南市を取り巻く状況は、めまぐるしく変化し、市民の皆さまを始め、市民団体、企業など地域を構成するあらゆる主体が、地域全体の担い手となる時代への転換が求められています。こうしたことに対応するため、本市では、平成29年度を目標とする「江南市戦略計画」を策定し、将来像である都市のすがたを「豊かで暮らしやすい生活都市」と定め、めざす地域社会づくりの目標と、その実現方策を明らかにしました。

この将来像を実現していくため、5つの分野ごとに、長期的視点から、めざす地域社会のすがたや目標、各主体の役割を明らかにしたものが、基本計画であります。

この基本計画の前期計画期間が終了するにあたり、3年間の成果や課題を洗い出し、長引く経済の低迷や地域が主役の新しいまちづくりの機運の高まりなど、この間の本市を取り巻く社会経済情勢の変化に対応するため、「江南市戦略計画」の基本計画を市民の皆さまと共に見直し、「江南市戦略計画第一次改訂基本計画」として取りまとめました。

「江南市戦略計画」の推進にあたっては、効果的・効率的な行政運営を図りながら、「江南市に住んで良かった」といわれるまちをめざして施策の実現に努めていく所存であります。

最後に、この計画の見直しにあたり、アンケート、住民説明会などを通じて貴重なご意見やご提言をいただいた市民の皆さまをはじめ、まちづくり会議委員並びに多くの関係者の皆さまに対し厚くお礼申し上げます。

平成23年3月

江南市長 坂元

● 策定経過

「市民と市役所が共につくり共有できる計画」であることから、その達成状況の確認や基本計画の見直しについても、市民の皆さまと市役所との協働により作業を進めてきました。

市役所では、各部課において進捗状況を検証しながら、検討を重ねてきました。

また、まちづくり会議では、公募市民、各種団体の代表、市職員が、活発な議論を行い、合意形成を図ってきました。

そのほか、市民調査の実施や住民説明会を開催し、市民の皆さまからのご意見やご提案などを踏まえて、計画の見直しを行いました。

平成22年 4・5月	市民調査の実施
10月	まちづくり会議 (分野別会議)の開催
11月	まちづくり会議 (全体会議)の開催
平成23年 1・2月	住民説明会の開催
3月	第一次改訂基本計画 の策定

◆ 計画の位置づけと見直し方針 ◆

《見直しの背景》

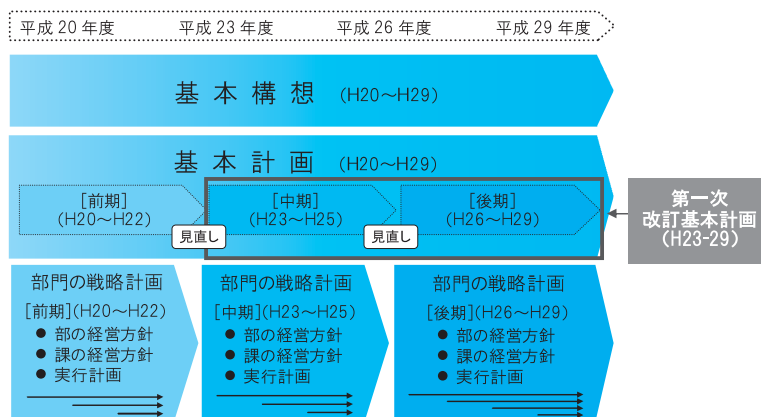
江南市では、平成 20 年度に、向こう 10 年間で江南市がめざすまちづくりの目標と、その実現方策を示す「江南市戦略計画」を策定し、市民と市役所が一丸となってまちづくりを進めてきました。

基本計画は、平成 20 年度から平成 22 年度の前期計画期間を終え、各分野で一定の成果をあげることができた一方、まだ重要な課題が残る分野もあります。また、少子高齢化の急速な進行、長引く経済の低迷、国・地方を通じた財政状況のさらなる悪化、地域が主役の新しいまちづくりの機運の高まりなど、この間の社会経済環境の変化はめまぐるしく、今後適切な対応が求められるところです。

このような状況を受け、平成 20 年度に策定した計画内容を見直し、平成 23 年度からの中期・後期計画期間における、江南市のまちづくりの目標と方針を明らかにするために、「江南市戦略計画第一次改訂基本計画」を策定するものです。

《第一次改訂基本計画とは》

「江南市戦略計画」は、「基本構想」、「基本計画」、「部門の戦略計画」で構成されていますが、「江南市戦略計画第一次改訂基本計画」は、中期・後期計画期間における「基本計画」をまとめたものです。



《見直し方針》

● 新たな環境変化への的確な対応

江南市を取り巻く新たな環境変化を踏まえ、各分野で求められる方向性や成果を再確認し、それに沿った計画内容の見直しを図りました。

● 市民ニーズ・市民意見の適切な反映

市民調査（アンケート）の実施や「江南市まちづくり会議」での議論、住民説明会の開催による市民の皆さまのニーズや意見を十分に取り入れて、計画の見直しを図りました。

● 前期計画期間で残された課題への計画的な対応

前期計画期間（平成 20 年度～平成 22 年度）の「まちづくり評価」の結果を踏まえ、残された課題を明らかにするとともに、残る 7 年間で計画的かつ確実に対応できるよう、計画内容の見直しを図りました。

● 江南市の強みを伸ばし生かすまちづくり

江南市の資源の特徴、特に江南市の良さ（強み）を将来に向けて伸ばし、それをまちづくりに最大限に生かすための方策を明らかにすることに視点をおき、計画内容の見直しを図りました。

◆ 基本構想の概要 ◆

《将来像》

●江南市の地域社会のしくみ●

だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土

～地域の進むべき方向を「共に考え」 地域づくりを「共に担う」～

●江南市の都市のすがた●

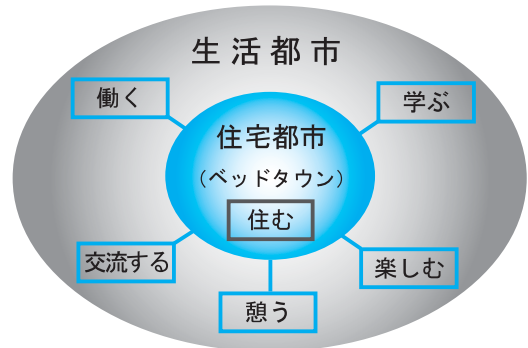
豊かで暮らしやすい生活都市

～市民の生活が地域で支えられる「生活都市」～

- （都市機能）
- 安心・安全に暮らせるまち
 - 快適・便利に暮らせるまち
 - 市民が生きがいもち、活力あふれるまち
 - 豊かな人材が育つまち
 - 環境と調和した豊かな生活の場があるまち

◆生活都市とは・・・

住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市（ベッドタウン）」を核に、さまざまな生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現されます。



《市民と市役所の役割》

市民の役割

- 市民は、地域社会づくりの「主役」になって、地域の進むべき方向性を市役所と共に考える。
- 市民は、公共サービスの「受け手」であると同時に、「担い手」であるという意識をもち、市役所と協力して地域社会づくりに力を結集する。

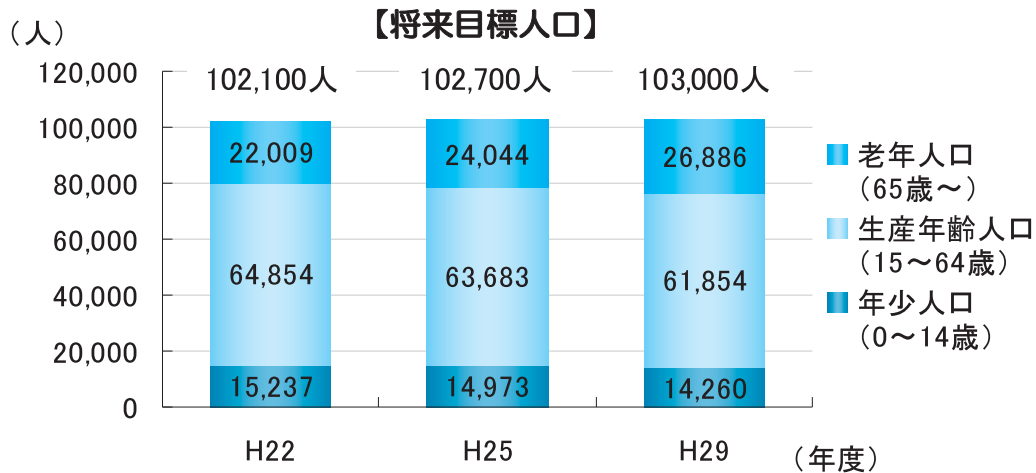
市役所の役割

- 市役所は、市民と共に地域社会のあり方を考え、地域の資源をコーディネートして、地域に新しい価値を生み出す。
- 市役所は、地域の実情に合ったきめ細かなサービスを、効率的かつ効果的に提供する。

◆ 目標フレーム ◆

《人口》

平成 22 年度までの人口推移や今後の宅地開発等の諸要因を検証した結果、江南市戦略計画策定時（平成 20 年度）に設定した将来目標人口を引き続き継承していくこととしました。



《財政》

平成 23 年度予算見込額を基礎として、平成 29 年までの財政状況を一般会計ベースで見通しました。

(単位: 百万円)

年 度	23	24	25	26	27	28	29	
歳 入 総 額	26,361	26,376	26,248	27,010	26,024	25,969	25,494	
自 主 財 源	市 税	11,884	11,997	12,065	12,285	12,364	13,081	13,361
	そ の 他	3,099	2,839	2,654	2,947	2,856	2,732	2,924
依 存 財 源	市 債	1,996	2,397	2,343	2,332	2,232	2,062	1,975
	地方交付税	2,614	2,380	2,310	2,082	1,558	1,105	331
	そ の 他	6,768	6,763	6,876	7,364	7,014	6,989	6,903
歳 出 総 額	26,361	26,376	26,248	27,010	26,024	25,969	25,494	
義 務 的 経 費	人 件 費	5,498	5,365	5,081	5,174	5,207	5,308	4,976
	扶 助 費	5,762	5,781	5,766	5,740	5,711	5,683	5,652
	公 債 費	2,382	2,422	2,476	2,481	2,270	2,334	2,372
投 資 的 経 費	1,923	2,468	2,514	3,113	2,086	2,258	2,126	
そ の 他 経 費	10,796	10,340	10,411	10,502	10,750	10,386	10,368	

※平成 23 年度は予算見込額 平成 24 年度以降は計画額

- 自 主 財 源 とは 市が自らの権限で収入することができる財源で、主なものは市税(市民税、固定資産税など)です。その他には、分担金・負担金(市が行う事業により利益を受ける者から徴収するお金)や使用料(公共施設を利用したときに徴収される料金)、手数料(証明書等の交付を受けたときに利用者が負担するお金)、諸収入(他の歳入科目に含まれない収入で預金利子や雑入等)などがあります。
- 依 存 財 源 とは 国や県の意思決定により収入される財源で、主なものは市債、地方交付税です。その他には、地方譲与税や利子割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、国庫・県支出金などがあります。
- 義 務 的 経 費 とは 任意に削減できない極めて硬直性が強い経費で、人件費(職員の給与等)、扶助費(生活保護費等)及び公債費(地方債の元利償還金等)があります。
- 投 資 的 経 費 とは 道路、橋りょう、公園、学校の建設等社会資本の整備等に要する経費で、普通建設事業費と災害復旧事業費があります。
- そ の 他 経 費 とは 義務的経費及び投資的経費以外の経費で、物件費(旅費や備品購入費、委託料等)や維持補修費(公用・公共施設などの修繕に係る経費)、補助費等(民間団体や他の地方公共団体などが行う事業に対して支出する補助金や負担金等)、繰出金(特別会計へ支出する経費)などがあります。

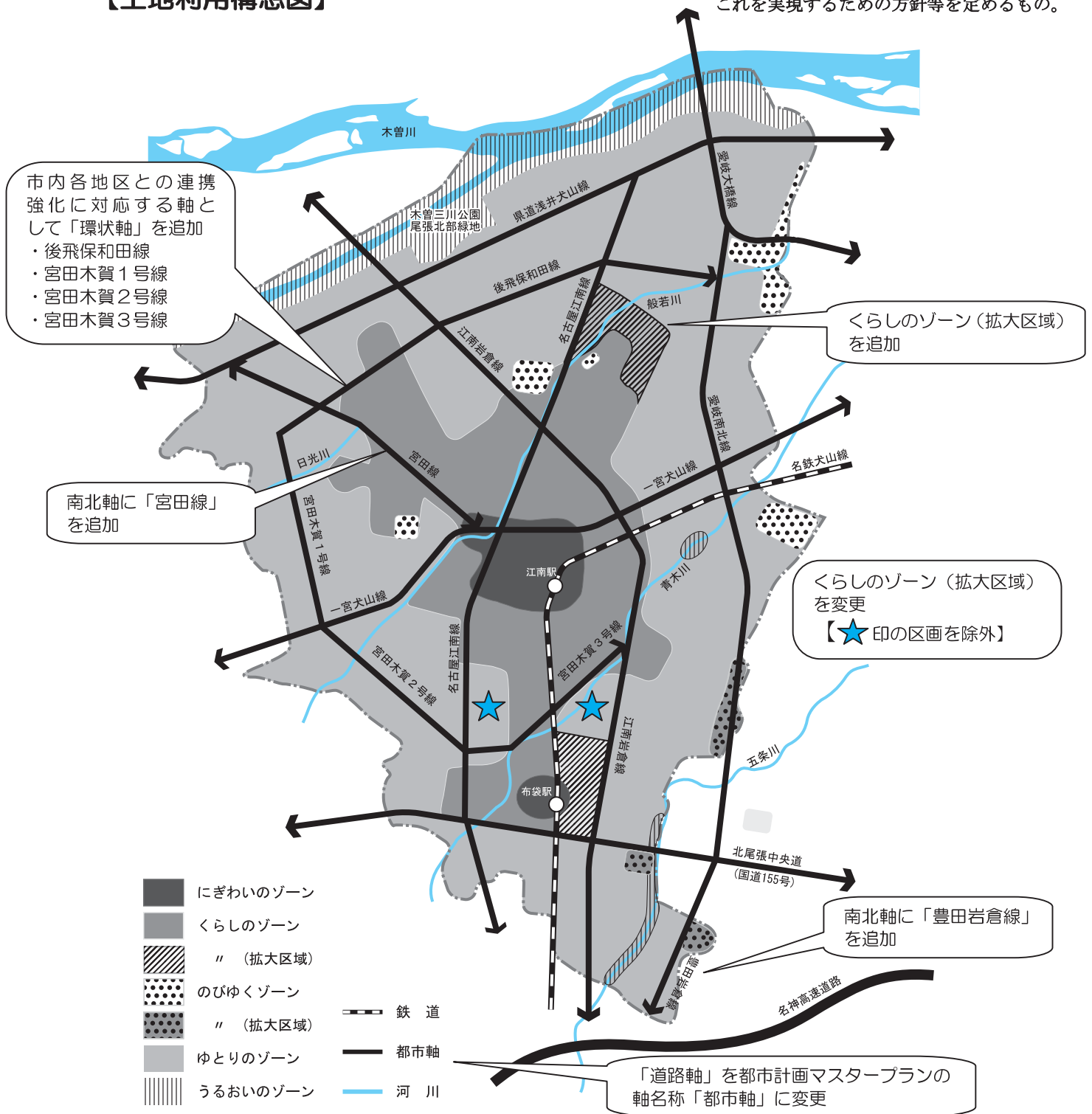
《土地利用》

平成 21 年 3 月に策定された「江南市都市計画マスタープラン」を基本に、見直しを行いました。

【土地利用構想図】

■都市計画マスタープランとは

市町村が将来の都市づくりのビジョンと、これを実現するための方針等を定めるもの。



<p>◇にぎわいのゾーン 市民生活の中心となるゾーンとして、都市機能の集積を高めるとともに、江南市のシンボルとなる景観とにぎわいを形成します。</p>	<p>◇のびゆくゾーン 市内における就業の場となる活力ある工業ゾーンとして、周辺環境に配慮しつつ、今後も地域経済に貢献していきます。</p>	<p>◇うるおいのゾーン 木曾川や五条川沿いの恵まれた水辺や緑地など身近な自然を保全し、憩いとうるおいを提供するとともに、レクリエーションの場として活用します。</p>
<p>◇ぐらしのゾーン 安全で安心して暮らせる居住環境を形成するため、市街地整備を進めるとともに、うるおいのある快適な空間づくりを進めます。</p>	<p>◇ゆとりのゾーン 都市空間にゆとりをもたらすゾーンとして、市街化を抑制し、農地の多面的な機能を維持・活用します。</p>	<p>◇都市軸 東西軸：北尾張中央道(国道155号)・一宮犬山線・県道浅井犬山線 南北軸：名古屋江南線・江南岩倉線・愛岐南北線・愛岐大橋線・宮田線・豊田岩倉線 環状軸：後飛保和田線・宮田木賀1号線・宮田木賀2号線・宮田木賀3号線</p>

◆ 目標達成状況と今後の取り組み ◆

《前期計画期間の目標達成状況》

「江南市戦略計画」の全指標の平均目標達成率は 81.3%となっています。また、達成率 90%以上の指標は、68.7%で、概ね目標を達成している状況といえます。

平均目標達成率	81.3%	
	〈項目数〉	〈割合〉
達成率 90%以上の指標	134 項目	68.7%
達成率 70%以上の指標	5 項目	2.6%
達成率 70%未満の指標	56 項目	28.7%

※達成率は、平成 22 年 12 月現在で、H22 実績値の把握できるものの集計

《市民満足度の変化の状況》

「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」の結果

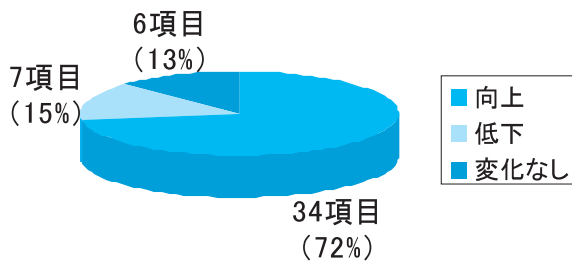
市民満足度がどのように変化したかを明らかにするため、市民調査（アンケート）を実施しました。調査対象は、基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を表す指標 47 項目で、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

■ 前回調査とは

「江南市市民意向調査」（平成 18 年 4 月実施）、
または、「江南市市民満足度調査」（平成 19 年 5
月実施）をいいます。

■ 「満足度」とは

各設問について、5 つの選択肢のうち上位の 2 つ
（「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の
回答）を選択した人の割合を満足度としています。



- 7 割以上の設問で満足度が「向上」しました。また、このうちの 6 項目は前回から 20 ポイント以上の大きな伸びがありました。（生活環境、産業分野 5 項目、健康、福祉分野 1 項目）
- 逆に「低下」した 6 項目のうち、前回から 10 ポイント以上大きく落ち込んだものはありませんでした。

I 生活環境、産業分野

市民がいきいきと働き、地域が活力にあふれ、
市民は安心・安全、快適・便利に暮らしている。

● 目標達成状況

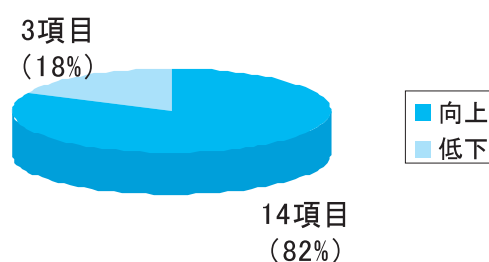
全体目標の平均目標達成率	96.2%
個別目標の平均目標達成率	82.3%
柱1 防災・地域防犯・交通安全	79.1%
柱2 消防・救急	118.0%
柱3 市民生活	50.2%
柱4 産業振興・雇用就労	73.1%
柱5 環境保全	66.1%
柱6 ごみ減量・処理	113.0%

全体目標の平均目標達成率は96.2%で、概ね目標達成している状況といえます。犯罪や災害への不安が少なく、消防・救急体制が整い、また、ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境により、市民は安心・安全に暮らしている状態にあるものの、「市民生活」と「環境保全」については、70%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な今後の課題

- 防犯・防災機能の地域力の向上
- さらなる消防体制の充実
- 安心な窓口サービス体制の整備
- 産業の活性化・観光客の誘客
- 環境・ごみ減量に対する意識づくり

● 市民満足度



- 全体的に満足度は向上しており、特に「防災・地域防犯」、「消防・救急」に関する設問では大きな伸びがみられました。
- 一方で、「産業振興・雇用就労」に関する設問で満足度の低下がみられました。

● 主な今後の取り組み

- 市民と市役所が連携した地域の防犯・防災力の強化
- 消防・救急体制の充実、消防広域化の実現やデジタル無線化の整備
- 市民が安心して窓口で手続きできるような体制の整備
- 商工農業の振興、観光まちづくりの推進
- 生活環境保全のための意識の高揚
- ごみのリサイクルに努め、ごみ減量 57 運動をさらに推進

II 健康、福祉分野

地域全体で子育てや介護などを支援し、
市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

● 目標達成状況

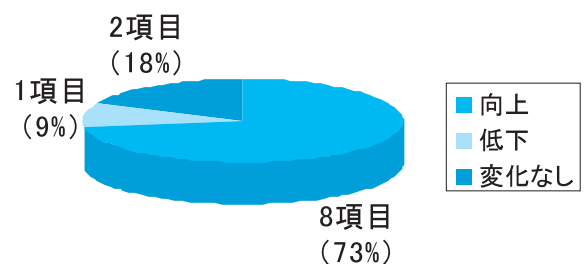
全体目標の平均目標達成率	119.4%
個別目標の平均目標達成率	80.7%
柱1 高齢者福祉	53.9%
柱2 子育て	82.2%
柱3 障害者福祉	55.1%
柱4 健康づくり	88.1%
柱5 保険年金	83.0%
柱6 生活支援・福祉活動	111.0%

全体目標の平均目標達成率は119.4%で、目標を達成している状況といえます。分野全体の達成状況は良好であるものの、「高齢者福祉」や「障害者福祉」における達成状況が低く、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。また、「子育て」や「健康づくり」のように柱全体の達成状況が良くても、個々の指標の達成状況が低いものについては、他の分野との連携や個別の対応をしていく必要があります。

● 主な今後の課題

- 高齢者への時代に即した活動支援
- 子どもを育てやすい環境整備・支援
- 障害のある人への支援体制の充実
- 健康診査、各種がん検診の受診率の向上
- 国民健康保険制度などの健全で安定した運営
- 生活困窮者などの自立に向けた支援等の充実

● 市民満足度



- 「子育て」に関する設問で、満足度が前回から大きく向上しています。
- 「健康づくり」に関する設問では、前回からほとんど満足度の変化がみられませんでした。

● 主な今後の取り組み

- 高齢者への地域での見守り体制の整備や関係機関と協働した地域活動の支援
- 多様化する保育サービスへのきめ細かな対応
- 学童保育の拡充
- 子育てに関する各相談窓口の連携
- 障害者の相談窓口の周知啓発
- 障害福祉サービスを実施する事業者参入の働きかけと施設整備支援
- がん検診などの受診PRの重点的な実施
- 医療制度について、広報やパンフレットを利用して広く周知
- 生活困窮者への就労等の相談、経済的支援体制の整備
- 地域で支え合う体制の整備

III 都市生活基盤分野

都市生活基盤が整備され、
全ての市民が快適で安心・安全な生活をしている。

● 目標達成状況

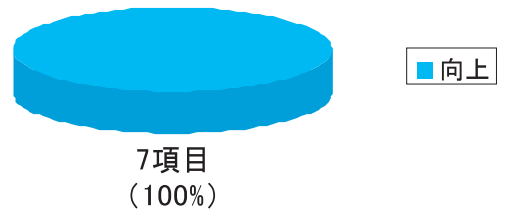
全体目標の平均目標達成率	114.6%
個別目標の平均目標達成率	83.7%
柱1 市街地整備	77.6%
柱2 道路	96.0%
柱3 公園緑地	117.8%
柱4 下水道	49.7%
柱5 治水	50.0%
柱6 住環境	103.3%
柱7 上水道	83.5%

全体目標の平均目標達成率は 114.6%で、すべての全体目標で目標値を上回っています。道路や公園、水道施設などが整備され、安全な住環境が確保されていることから、市民は安心して暮らしている状態にあるものの、「下水道」「治水」については、50%前後の達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な今後の課題

- 商店街等の活性化につながる施策の推進
- 計画的・効率的な道路整備
- 花いっぱい運動・花のコンクールの充実
- 下水道普及率の向上
- 第3次江南市総合治水計画の具体化
- 木造住宅耐震化に向けたさらなる啓発
- 健全で安定した水道事業経営の維持

● 市民満足度



- すべての設問で前回調査から満足度が向上しています。
- 特に「上水道」に関しては 80%を超える高い満足度が得られています。また、「治水」「住環境」に関する設問でも、満足度が 60%を超えています。

● 主な今後の取り組み

- 街の賑わいを取り戻すための調整と効率的な施策の検討
- 市民の積極的なみちづくりへの参加のための調整
- 日常的な道路施設等のパトロールの強化
- 花いっぱい運動の活性化
- 参加者増加のための花のコンクールの検討
- 下水道の費用対効果の高い整備手法を用いた整備の推進
- 第3次江南市総合治水計画の重点地区における緊急度の高い地区からの雨水貯留施設の施工
- 市民や専門家との協働により、開発・建築指導及び耐震化の啓発活動の実施
- 適正な定員管理、積極的な情報開示、計画性・透明性の高い水道事業経営の推進

IV 教育分野

次世代の社会を担う豊かな人間性と学力をもった子どもが育っているとともに、市民が生涯にわたり学び、それを地域社会に活かしている。

● 目標達成状況

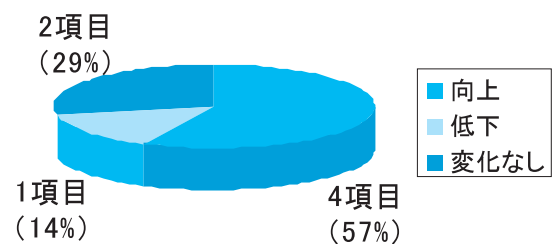
全体目標の平均目標達成率	77.4%
個別目標の平均目標達成率	68.3%
柱1 学校教育	54.5%
柱2 教育環境	43.3%
柱3 生涯学習	79.8%
柱4 文化・交流	79.4%

全体目標の平均目標達成率は77.4%で、概ね目標達成している状況といえます。「学校教育」については、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができているものの、達成状況は55%以下であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な今後の課題

- 開かれた学校づくりのさらなる推進
- いじめ不登校問題の連携した取り組み
- 社会教育指導者の育成と活用
- 国際交流活動拠点の充実・支援員等の人材育成

● 市民満足度



- 「学校教育」に関する設問で、満足度が前回から大きく向上しています。
- 「生涯学習」に関する設問で、若干の満足度の低下が見られました。

● 主な今後の取り組み

- 学校情報の公開、学校評議員制度の充実
- 地域ぐるみの教育行政の推進
- 市民が積極的に参加できる社会教育講座の開催
- 生涯学習講師人材バンクの活用
- 江南市国際交流協会の活動拠点の増加
- 国際交流支援員・相談員等の専従事務者の確保

V 経営、企画分野

市民と市役所との信頼関係のもとに協働型社会が構築されており、限られた経営資源の中で最大の成果を実現し、効率的で公平かつ適正な行財政運営が行われている。

● 目標達成状況

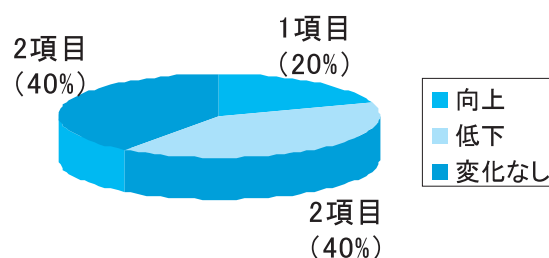
全体目標の平均目標達成率	61.3%
個別目標の平均目標達成率	70.6%
柱1 地域経営	72.9%
柱2 行政経営	77.8%
柱3 課税・収納	50.3%
柱4 行政事務管理	58.4%
柱5 議会運営への支援	—

全体目標の平均目標達成率は61.3%と、あまり達成できていない状況となりました。「議会運営への支援」については、目標が数値化されていませんが、実績値が基準値を上回っており、進展が見られました。「行政経営」において、行財政構造改革「集中改革プラン」による経費削減に一定の成果が見られたものの、達成状況が50%台となっている柱もあり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な今後の課題

- 公募型協働支援補助事業の採択数の増加
- 経費削減型から質を高める改革への転換
- 収納率の向上
- 円滑な監査事務執行に対する指導強化
- より開かれた議会の実現

● 市民満足度



- 全体的に満足度は向上していませんが、その中で「議会運営」に関する設問で満足度が向上が見られました。
- 「地域経営」に関する設問で、満足度が低下しています。

● 主な今後の取り組み

- 公募型協働支援補助事業のPRの充実
- 与えられた経営資源を活用して最大の効果をあげる経営
- 市民の納税意識の向上
- 市税の期限内納付の推進、公平・公正な滞納整理の積極的な取り組み
- 行財政運営全般の監査実施
- より透明性の高い市政に向けた監査の執行
- 議員活動の周知の推進

◆ 着実な計画の推進に向けて ◆

江南市戦略計画の着実な推進に向けて、平成 23 年度から平成 25 年度の中期計画期間において、次のことを基本に、施策の推進に努めます。

● 重点戦略

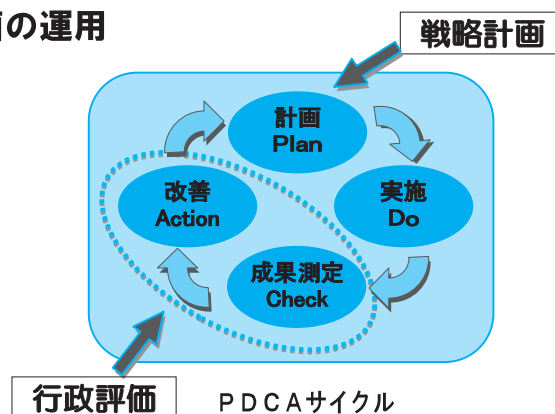
市民協働の推進	安心・安全に暮らせる環境づくり	子育て支援・次世代を担う人材育成	市民生活に直結する都市生活基盤の整備
「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」の制定を契機に、市民の皆さまとの協働による地域社会の構築を推進します。	地域全体で地域の安心・安全を守る取り組みを進め、市民相互の支え合いを強化します。また、福祉政策の予防・自立支援型への転換を図ります。	地域全体で子育てをサポートするしくみ・体制を整えます。また、次世代を担う人づくりを強化します。	市民生活の利便性や快適性に直結する都市生活基盤を整備します。

● 新しい行政改革への取り組み

事業の廃止・縮小、経費節減、人員削減などの「量の改革」だけでなく、行政サービスの質の向上、人材育成、組織開発、地域経営の推進など、経営の質を高めるための改革に力を入れます。

● PDCAのマネジメントサイクルによる計画の運用

「行政評価システム」を活用して、定期的な「成果測定（評価）」と恒常的な「改善」を行い、PDCAのマネジメントサイクルによる計画の適切な運用を図ります。



江南市戦略計画第一次改訂基本計画

平成 23 年 3 月

発行／愛知県江南市

〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90 番地

電話 (0587) 54-1111(代)

編集／経営企画部行政経営課

この概要版は再生紙を使用しています。